ごあいさつ

理事長　赤川新一

皆さまには、平素より新潟縣信用組合（略称：**けんしん**）をお引き立ていただきまして、誠にありがとうございます。

皆さまから当組合に対するご理解を一層深めていただきますよう、ディスクロージャー誌「**けんしん**の現況2025」を作成いたしました。経営方針や最近の財務状況、業績などをできるだけわかりやすくご説明させていただくことを心がけましたので、ご高覧いただければ幸いに存じます。

令和6年度の県内経済は、原材料価格の高止まりや円安の影響を受けつつも概ね緩やかな回復基調となりました。能登半島地震の復旧工事を中心に公共投資が増加したほか、佐渡金銀山の世界文化遺産登録を受けて観光需要が拡大しました。一方で、物価上昇や物流問題などを背景に、コスト増加や人手不足などが深刻化し、中小企業の経営を圧迫しました。また、個人消費は、賃上げや雇用環境の改善を受けて持ち直しの動きがみられたものの、食料品やエネルギー価格の上昇が家計に大きな影響を及ぼしました。金融環境は、日本銀行による金融政策の正常化を受けて金利上昇が進んだほか、日経平均株価は一進一退を繰り返すなど金融市場も動きの多い一年となりました。

このような環境の下、令和6年度は、「第19次中期経営計画（令和4年度～6年度）“地域との伴走・共生”～顧客との信頼関係の再構築・強化を目指して～」の最終年度であり、経営課題として「人的資源の活性化」「地域力の発揮」「組織体制の確立」「収益力の向上」「健全性の強化」の5項目を掲げ、計画の達成に向けて各種施策に取り組んでまいりました。特に、第19次中期経営計画の集大成として、価値創造の源泉となるヒトへの投資を通じて**けんしん**の企業価値を向上させ、持続可能な経営基盤を構築する体制づくりに注力いたしました。

本年4月より「第20次中期経営計画（令和7年度～9年度）」をスタートいたしました。本計画では、目指す姿を「業務の質と職員の質、行動の質を高め、組織の好循環を実現する」「地域に根差し、地域と支え合い、地域社会の持続的発展に貢献する」として捉え、テーマを「“つながろう『**けんしん**』つながろう『地域と』”～人財の力を最大活用し、地域のチカラになる～」としました。経営課題として「人財力の強化」「地域力の発揮」「組織力の強化」「持続性の向上」「健全性の向上」の5項目を掲げ、経営課題に対応する経営戦略として「人財戦略」「地域戦略」「組織戦略」「成長戦略」「基本戦略」の5つの戦略を立て、計画の達成に向けて組織一丸となって全力で取り組んでまいります。

地元を見つめ、地元とともに75年の歴史を刻んだ当組合が、今後もさらに皆さまから親しまれ信頼される金融機関としてお役に立てますよう、役職員一同全力をあげて邁進する所存でございます。

今後とも変わらぬご支援、ご愛顧を賜りますよう心からお願い申し上げます。

令和7年7月

●本誌は、「協同組合による金融事業に関する法律」第6条において準用する「銀行法」第21条に基づいて作成したディスクロージャー資料です。
●本資料に掲載してある金額は、原則として単位未満を切り捨てて表示しているため、掲載金額の合計と表中の合計欄が一致しない場合があります。
●本資料に掲載してある諸利回り・諸比率は、原則として小数点第3位以下を切り捨てて、第2位までを表示しております。
●端数処理の関係から、掲載している構成比の合計が100%とならない場合があります。